

今回のお知らせ内容



- 災害への備えできていますか？
- 新郷村の現状について（別紙添付）
- はればれカフェについて
- 介護予防教室について

《震災は忘れたころにやってくる…？》

2024年1月1日『石川県能登半島地震』が発生し、一年が経過していますが、復興には程遠い状態であることが報道されています。

また、2011年3月11日には『東日本大震災』がありました。

集中豪雨による河川氾濫や土砂災害も全国各地で発生し、

その都度、尊い命が奪われています。

さまざまな全国のニュースを見るにつけ、
「新郷村は災害が何もなくていいところだ」という
ことが実感されますが、油断は禁物！！



いつやってくるかわからない災害。

平時から準備しておくことが重要です。

『自分で、自分の命を守るため』

今一度、防災について考え備えておきましょう！！

○自宅は『土砂災害』や『浸水』の危険区域？！

自分の住んでいる家や周辺は安全かどうか確かめたことはありますか？

今一度『新郷村防災マップ』を見て、自宅周辺の状況を確認、発災時の行動をシミュレーションしておきましょう。

家族で話し合っておくことも重要です！

※『新郷村防災マップ』とは・・・

以前、各家庭に配布された冊子になります。

見つけれない場合は村のホームページにも掲載

しておりますのでアクセスしてみてください。



○避難行動要支援者の登録

村では下記対象者に対し、災害時支援を行うため名簿登録を行っております。

- ・ 障害を抱える方
- ・ 高齢のため自力で逃げることが困難な方
- ・ 乳幼児等を抱えた母親や妊婦
- ・ 外国人など自力で避難することが困難
もしくは避難情報を的確に把握できない方など



登録台帳を厚生課で一括管理し、役場災害担当、新郷駐在所、西分遣所等に一覧名簿を配布することにより、円滑に要援護者を避難させる体制を作ります。

また、名簿の登録者のうち、自宅が浸水や土砂災害警戒区域に該当する方に対して『個別避難計画』を策定しております。

災害時には、いつの時点で誰とどこに避難すればいいのか、本人や近所の方と一緒に考えて計画を作り、平時の内から備えておくためのものです。

『避難行動要支援者名簿の登録』及び『個別避難計画』の申込は

新郷村地域包括支援センターまでご相談ください。

電話 0178-61-7560

《はればれカフェについて》

10月29日（火）八戸陸奥湊方面
へバス遠足に行きました♪

30名を超える申し込みがあり、
参加された皆さんからは、しばらく
行ってなかったところに行けて楽し
かったと好評をいただきました！



陸奥湊駅前のいさばのかっちゃん像の前で 🇯🇵 ✨

～ はればれカフェの開催について ～

年齢問わずどなたでも参加可能です！

通常会 場所 総合福祉センター
日付 毎月最終火曜日
時間 10:00 ～ 12:00

特別会 場所 美郷館、バス遠足など
日付 最終火曜日

※ 特別会の場合は毎戸配布のチラシでお知らせを行い、
参加申し込みを受け付けます。

この
のぼり旗が
開催の目印
です！



みんなで心も体もはればれできるよう、参加した方々がやりたいことを考
えて実現したり、楽しく暮らしていくために必要な制度や仕組みを勉強した
りなど、今後も様々な企画を考えて開催してまいります。

ご参加お待ちしております♪

《介護予防教室について》

新郷村で行っている介護予防教室は次の通りです。

通所型サービスC事業

基本チェックリストで「運動」「栄養」「口腔」また「閉じこもり」「認知」「うつ」の各項目で、機能が低下してきていると判断された方へ向けた通いの教室です。

訪問型サービスC事業

基本チェックリストで「運動」「栄養」「口腔」また「閉じこもり」「認知」「うつ」の各項目で、機能が低下してきていると判断された方へ向けた自宅へ専門職が訪問する教室です。

水中歩行運動教室

65歳以上で水中運動に興味がある方や、筋力維持・向上のために運動したいと思われる方を対象に開催しています。

お元気くらぶ

65歳以上の方を対象に、冬期間、家に閉じこもりがちになるのを予防し、元気にいきいきとした生活を予防するため、各常会の集会所にて開催いたします。

～介護予防は地域ぐるみで～

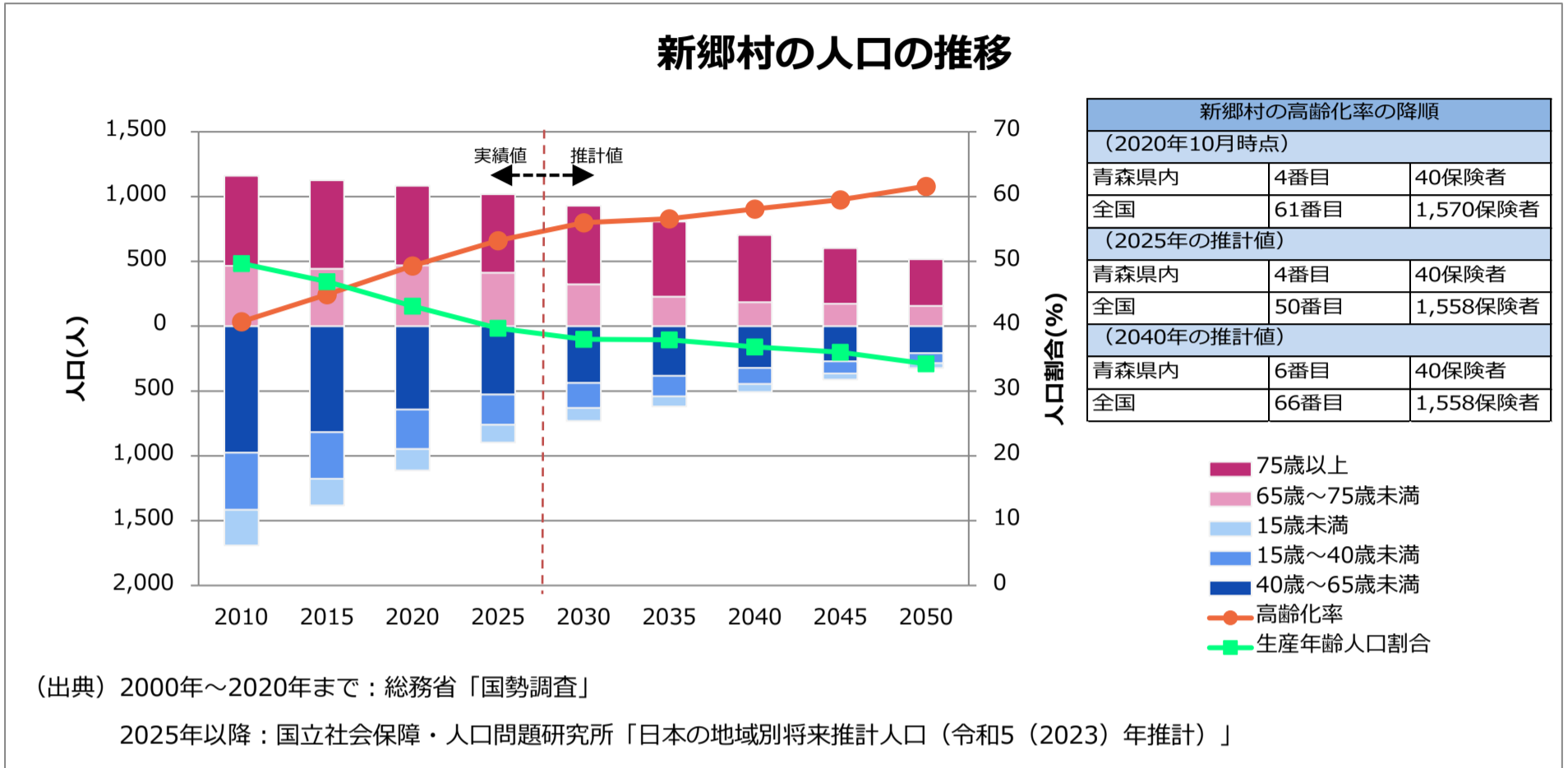
- ①自分でできる予防法に積極的に取り組みましょう。
- ②今の自分の能力を生かして高齢者同士も互いに助け合いましょう。
- ③「支援する」「支援される」が当たり前の関係を日頃から築きましょう。
- ④だれでもいつかは支援される側になることを忘れずに！！



《新郷村の現状について》

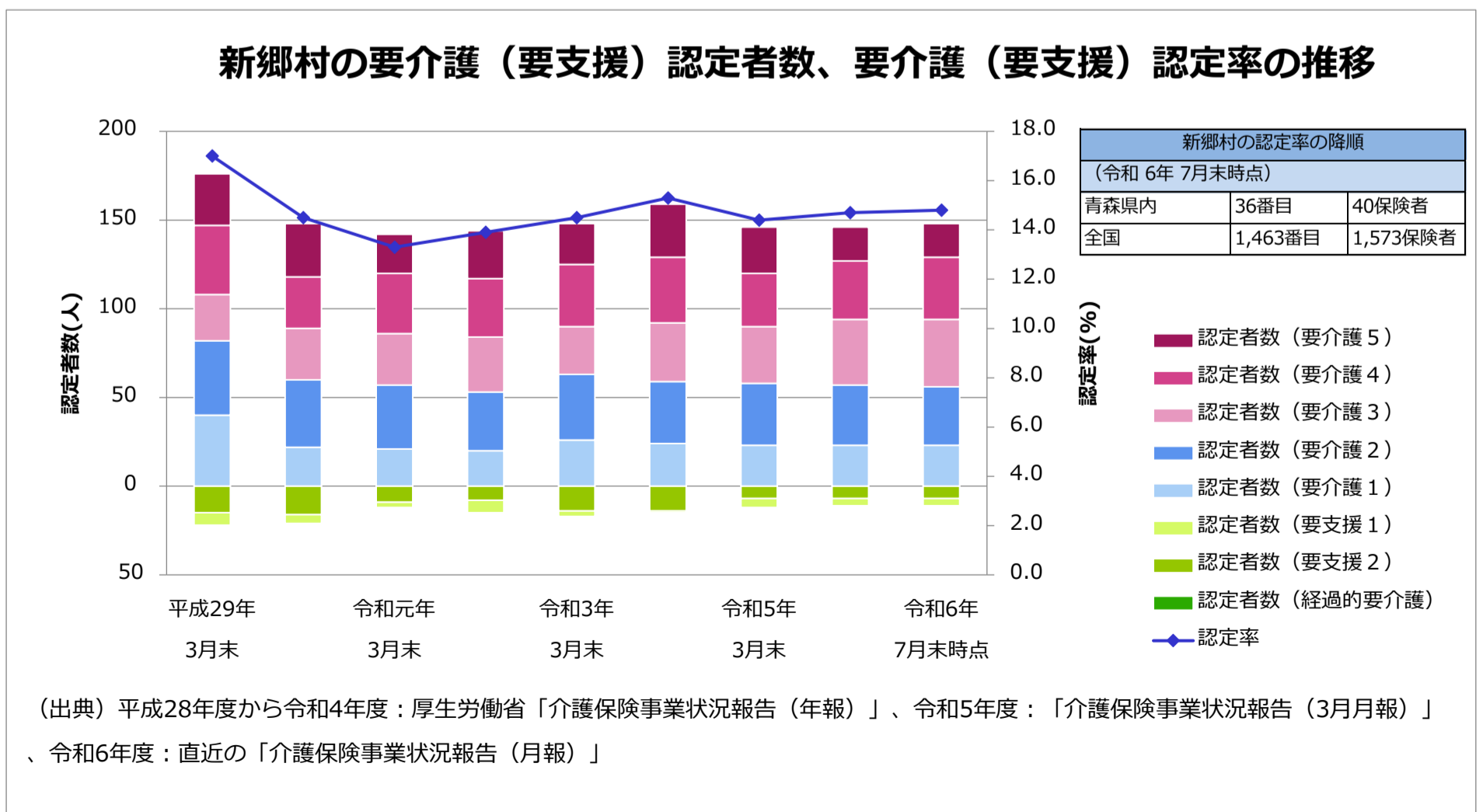
① 新郷村の人口の推移

2020年までは国勢調査における実績値、2025年以降は将来推計人口を表にしたもの。
 推計値における総人口は2050年には830人程度になり、高齢化率は60%を超え、生産年齢人口は40%を下回る。
 2024年現在、青森県内4番目の高齢化率となっている。
 つまり、今現在は子供や若者が少なく高齢者が多いが、今後は子供も若者も高齢者も数が少なくなる。
 特に生産年齢人口の減少が顕著であるため、若者が高齢者を支える仕組みは継続できなくなることが予測される。



② 新郷村の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移

介護保険を申請し、認定された方の介護度別人数を表にしたもの。
 認定者数は減少傾向。介護度別人数は要介護1以下の軽度者が半数以下を占めている。
 令和6年7月末時点で県内40市町村中36番目と総人口に占める認定率は低い傾向にある。
 つまり、介護保険を利用しなくてもいい元気な方がたくさんいるという結果が表れている。



③ 新郷村の介護費用額の推移

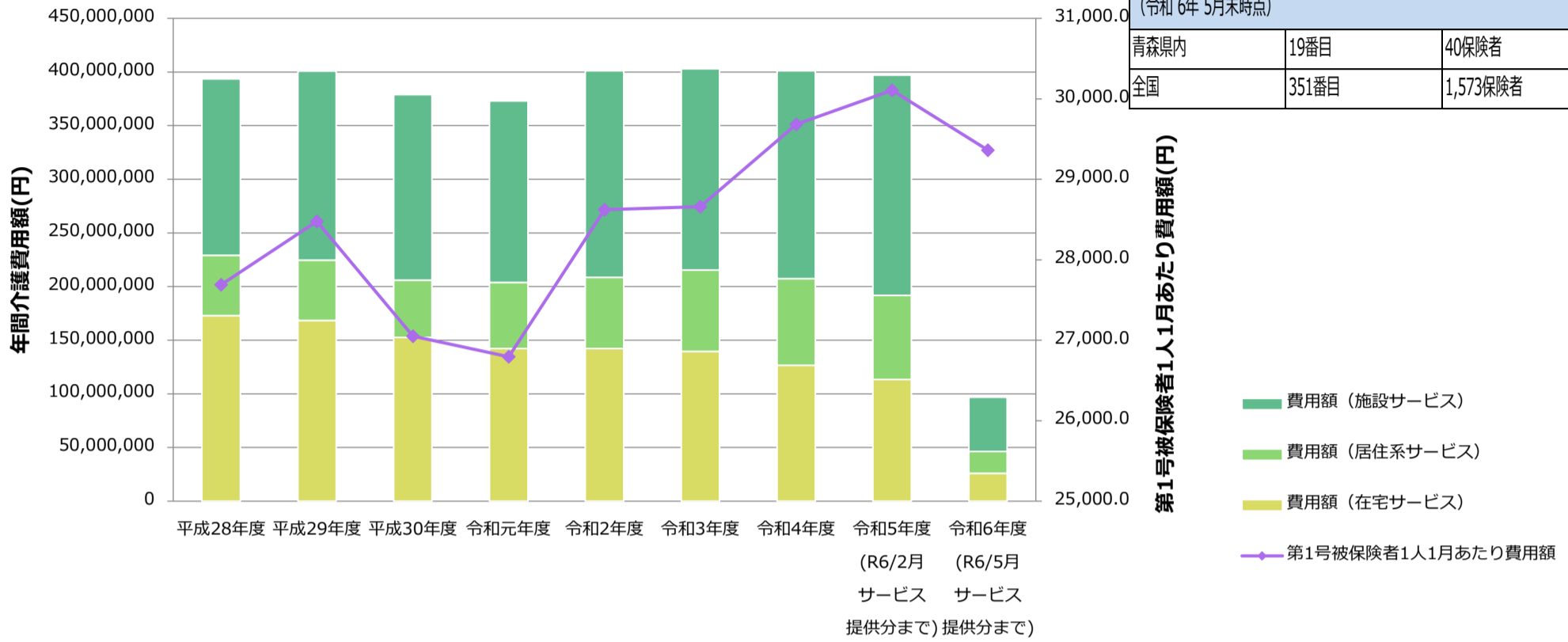
介護サービス（施設、居住系【グループホーム等】、在宅）の利用に係る費用額の推移を表にしたもの。

H29年からH30年の費用額の減少は在宅サービスの利用者数が減ったことによる。R元年からR2年の費用額の増加は療養型施設に入所される方が増加したことによる。また、R2年度頃からトータルの年間費用額は4億程度でほぼ横ばいで推移。

R4・5年の費用額の増加は施設入所者（老健・特養）が増加したことによる。

R4年度には在宅サービス事業所が相次いで廃止や休止となり、現状、サービスを利用したくても利用できない状況になっている。

新郷村の介護費用額の推移



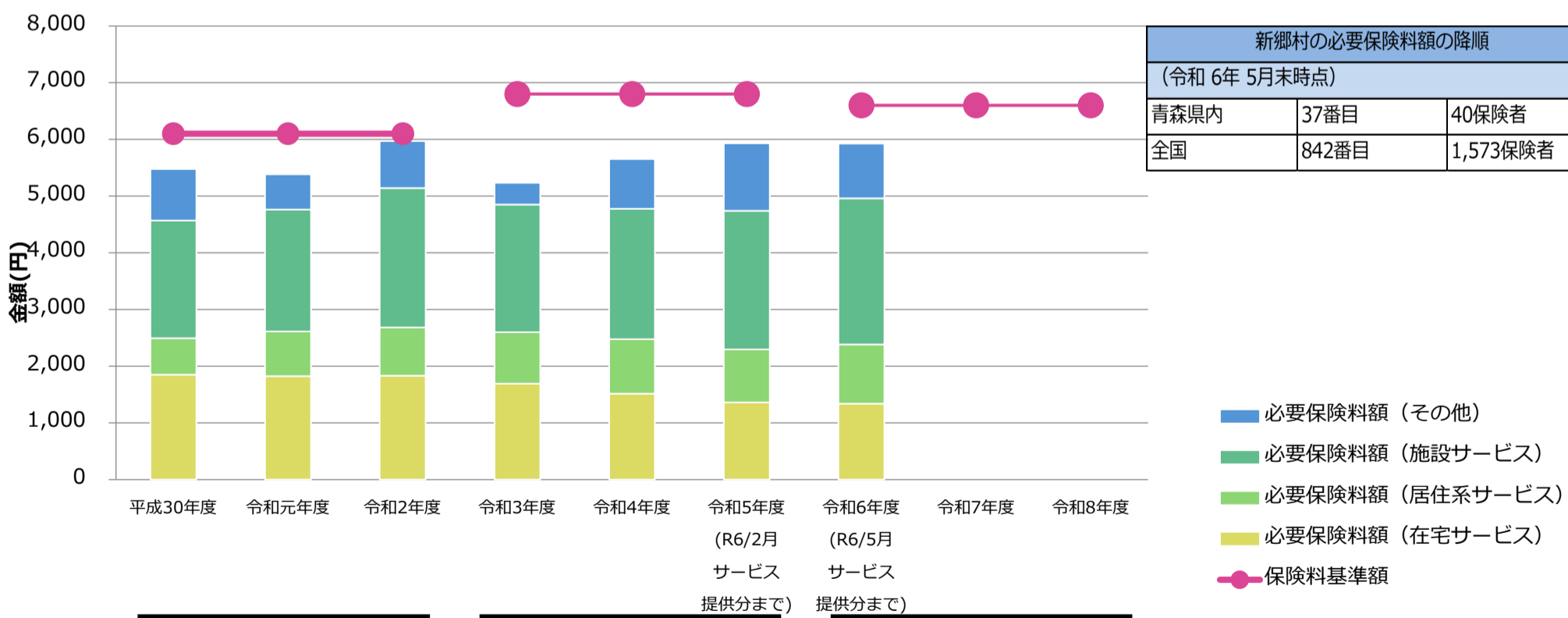
（出典）【費用額】平成28年度から令和4年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和5年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計、令和6年度：直近月までの「介護保険事業状況報告（月報）」の累計（※補足給付は費用額に含まれていない）

【第1号被保険者1人あたり費用額】「介護保険事業状況報告（年報）」（または直近月までの月報累計）における費用額を「介護保険事業状況報告月報」における第1号被保険者数の各月累計で除して算出

④ 新郷村の保険料額の推移

第8期では施設入所者等の増加が見込まれたため保険料額を増額したが、予想を下回ったことや、ピンピンコロリの方が増加し、介護保険を利用することがないまま最期を迎える方が増えてきたことから、第9期の介護保険料は下げることとなった。

新郷村の保険料額の推移



（出典）【必要保険料額】平成30年度から令和4年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和5年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計および介護保険事業計画に係る保険者からの報告値、令和6年度：直近月までの「介護保険事業状況報告（月報）」の累計および介護保険事業計画に係る保険者からの報告値

【保険料基準額】介護保険事業計画に係る保険者からの報告値